

陸送協会ニュース

第 **134** 号

2013 年 9 月

編集・発行者

社団法人日本陸送協会事務局

東京都新宿区新宿 1-11-15

電話 03-3356-3977 / 7922

「教育・認定制度」の推進 荷主・事業者・ドライバー相互の信頼性の向上



(社)日本陸送協会では、「輸送の安全の推進」及び「業界の信頼性の向上」のためドライバー教育の充実を掲げ、平成23年度から「教育・認定制度」を下記のとおり、実施して参りました。厚く御礼申し上げます。

本年度は全国展開を図っており、これから実施の支部もありますので、ぜひご参加の程よろしくお願い致します。

本制度の利用により、社内教育・研修等の一層の充実が図られ、荷主・事業者・ドライバー相互の信頼性の向上及び事故防止の増進につながるものと期待されております。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 受講者 | 積載ドライバー（経験年数5年以上かつ無事故無違反1年以上）
自走ドライバー（ 〃 ）
積載運行管理者（経験年数3年以上かつ無事故無違反1年以上） |
| 2. 費用 | 積載ドライバー（18,000円）
自走ドライバー（15,000円）
積載管理運行者（12,000円） |
| 3. 後援 | 国土交通省 |
| 4. 累積実績 | 積載ドライバー 152名
(25年8月末) 自走ドライバー 73名 |

なお、詳細なお問い合わせは、各支部までお願い致します。

認定証



GOLD DRIVER



賞状は、社団法人日本陸送協会が定めた「ゴールドドライバー」であることを認定します。

平成 年 月 日
社団法人日本陸送協会

社団法人日本陸送協会 事務局教育プログラム



自走ゴールド・ドライバー
テクニカル
ガイドブック



秋の「全国交通安全運動」

無事故の願いを込めて全国で開催中

◆運動実施期間

全国／平成25年9月21日(土)～

9月30日(月) 10日間

交通事故ゼロを目指す日 9月30日(月)

◆運動の全国重点目標

①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)

②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

③飲酒運転の根絶

《陸送協会の活動》陸送協会では全国交通安全運動に呼応して運動を展開

秋の交通安全強化月間

期間 陸送協会／平成25年9月1日(日)～

9月30日(月) 一ヶ月間

目的 交通安全思想の普及、浸透を図り、

交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、

運転関係従業員の交通事故防止の徹底を図る事を目的とする。

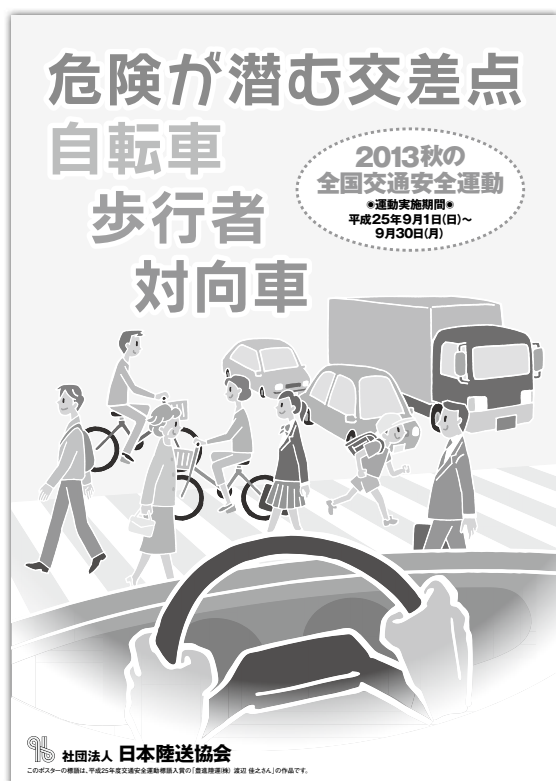
統一標語

「危険が潜む交差点 自転車 歩行者 対向車」

平成25年度交通安全標語入賞の「豊進陸運(株)渡辺 佳之さん」の作品です。

重点項目 「基本作業の徹底」

「シートベルト着用の徹底」



支部だより

北陸信越支部

通常総会

開催日 平成25年7月12日(金)

場所 新潟県新発田市月岡温泉

総会に先駆け、優良運転者表彰が行われ本部表彰者3名に対し協会本部佐々木会長より、表彰状と記念品が授与され、支部表彰者4名にも永塚支部長より表彰状と記念品が授与されました。



平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)報告審議され異議なく承認されました。

今年は、役員の改選が行われ永年支部長としてご活躍頂いた北陸運輸(株)社長永塚秀幸氏が退任され新支部長に(株)トランスポート金沢の小松康作氏が就任されました。

審議終了後、来賓の協会本部佐々木会長、北陸信越運輸局 自動車技術安全部管理課長 宮崎吉信様より祝辞を頂きました。

受賞者

石川分会 (株)トランスポート金沢 吉野 春基
長野分会 トヨタ輸送(株) 宮坂真理子
新潟分会 愛知車輛興業(株)新潟営業 小林 秀和

「教育・認定制度」の推進について

北海道支部「教育・認定制度」第2回自走ドライバ教育開催

開催日 平成25年7月9日(火)

場所 (株)ゼロ北海道カスタマーセンター

受講者

トレーナー

協会支部関係者

16名
3名
3名





北海道支部「教育・認定制度」 第3回自走ドライバ―教育開催

開催日 平成25年8月20日(火)
場 所 釧根地区トラック研修センター
受講者 11名
トレーナー 2名
協会支部関係者 4名

東北支部「教育・認定制度」 第1回積載ドライバ―教育開催

開催日 平成25年7月22日(月)
場 所 トヨタ輸送(株)宮城物流センター構内
受講者 10名
トレーナー 3名
協会支部関係者 5名
当日は、東北運輸局からは自動車技術安全部 保安・環境調査官 小野 昇様他2名の出席を頂き、積載ドライバ―教育の状況をご覧いただきました。



関東支部「教育・認定制度」 本年度第1回積載ドライバ―教育開催

開催日 平成25年7月13日(土)
場 所 日産自動車(株)追浜車両センター
受講者 12名
トレーナー 6名

◎一般社団法人自動車工業会／流通部会

日時 平成25年7月17日(水)
場 所 自工会議室
出席者 流通輸送部会
木内部会長 沢口副部会長
竹淵委員 山田委員
塚越副統括部長 鈴木

陸送協会

佐々木会長 水野副会長
青木副会長 大沼副会長代理
手塚理事 佐瀬専務理事

主旨

陸送協会より、「陸送協会事業概況調査」(概要版) 及び「陸送協会が抱える喫緊の課題」について説明を行い、理解と協力の要請を行った。

◆陸送協会の実状について、流通輸送部会と陸送協会が定期的に意見交換し、課題解決に向けて協力していくことで合意。

関係団体への渉外活動



◎一般社団法人日本自動車販売協会 連合会への現状説明

日時 平成25年7月18日(木)
場 所 自販連会議室
出席者 自販連
川島副会長 島崎常務理事
八木橋法務部次長

陸送協会

佐々木会長 水野副会長
青木副会長 大沼副会長代理
佐瀬専務理事

主旨

陸送協会より、「陸送協会事業概況調査」(概要版) 及び「陸送協会が抱える喫緊の課題」について説明を行い、理解と協力の要請を行った。

◆自販連・陸送協会両事務局にて、ワーキンググループの立上げ等につき調整することになった。



「18歳運転可能」へ法改正

中型運転免許諸制度 古屋公安委員長が表明

古屋圭司国家公安委員長は21日、全日本トラック協会の星野良三会長を呼び、中型運転免許制度改正に向け、有識者懇談会を設置し、法律改正により18歳で車両総重量5トン以上の車両を運転できる仕組みづくり着手する考えを明らかにした。22日の全ト協常任理事会で星野氏が報告。中型免許見直しの動きが公式に表面化したのは初めて。会談に同席した全ト協の細野隆弘専務によると古屋氏は中型免許見直しに向けて有識者懇談会を警察庁に設置し、その中で全ト協と全国高等学校長会（全校長、及川良一会長）にヒヤリングを実施。改めて要望を聞いた上で、着実な制度改正に取り組む考えを表明した。運転免許制度改正に当たって有識者懇談会を設置するのは恒例となっている。全ト協は中型免許見直しに当たって、普通運転免許で運転できる範囲を現行の「車両総重量5トン未満」から「6・5トン未満」引き上げるよう要望。高校新卒の場合、普通免許で2年運転経験があれば中型免許が取得できないため、全高長は「高卒者の就業機会が失われる」として見直しを求めている。全ト協サイドは制度改正の手法とし

て法律改正ではなく、政省令などの改正の範囲を想定していた。しかし、古屋氏は「それでは国民が納得しない」として、「スピード感を持って法律改正に臨む」姿勢を示したという。

具体的な新制度の中身は不明だが、「若干の条件は付くだろうが、18歳でも（車両総重量5トン以上に）対応できる仕組みになるのではないか」（細野氏）との見方が一般的だ。

有識者懇談会の立ち上げや法律改正などを考慮すると、早急な実現は困難で、数年はかかることが予想されるが、中型免許制度見直しはこれで初めて本格的な動きとなってきた。
(8/26 物流ニッポン社)

「高さ指定道路」要望に ついての経過報告

平成25年度の「高さ指定道路」の要望について、陸送協会会員からの申請件数122区間となりました。今後9月に国土交通省・警察庁に1回目の申請を行います。各団体からの申請内訳は次の通りです。
(日本陸送協会122区間、JR貨物11区間、全ト協27区間)

経過報告

- 7/12 北陸信越支部通常総会
- 7/13 関東支部「教育・認定制度」積載ドライバー教育
- 7/17 自工会への渉外活動
- 7/18 自販連への渉外活動
- 7/22 東北支部「教育・認定制度」積載ドライバー教育
- 8/20 北海道支部「教育・認定制度」自走ドライバー教育

今後の予定

- 9/19 臨時正副会長会議兼総務部会
- 9/20 北海道支部「教育・認定制度」自走ドライバー教育
- 10/11 自工会との合同研修会
- 10/17 東北支部総会
- 10/31 正副会長会議兼総務部会
- 11/8 関東支部「教育・認定制度」自走ドライバー教育
- 11/26 近畿支部「教育・認定制度」自走ドライバー教育

事務局日誌

入退会情報

- 入会.....
- 平成25年7月 名古屋陸送株式会社 北陸営業所
 - 平成25年7月 アイシャイン 沼津旧国店
 - 平成25年8月 有限会社ベルサービス

- 退会.....
- 平成25年8月 株式会社京阪輸送

